

“了 2”の意味の種類と意味間の関係

鄧 宇 陽

Abstract

The paper aims to clarify the semantic types and the semantic relationships of the Chinese sentence-final particle “LE 2”. First, the paper redefines the semantics of “LE2”. Secondly, based on the semantics of “LE2”, the paper discusses the nature of various denotative meanings of “LE2” and the formation mechanism of some denotative meanings. Finally, the paper clarifies the semantic relationships of “LE 2”.

キーワード…… “了 2” 外延の意味 内包の意味

1 はじめに

中国語の助詞“了”は語尾“了”と文末助詞“了”に分けられる。語尾“了”は“了 1”とも呼ばれており、文末助詞“了”は“了 2”とも呼ばれている(呂叔湘 2016 : 351)。肖治野・沈家煊(2009)は、“了 2”を行為域の“了 2”、認知域の“了 2”、言語域の“了 2”に分けている。本論文は、行為域、認知域、言語域という三域の“了 2”をそれぞれ“了 2<行為>”、“了 2<認知>”、“了 2<言語>”と呼び、“了 2”が含まれる文を S“了 2”と呼ぶことにする。肖治野・沈家煊(2009)によれば、“了 2<行為>”の意味は、ある行為や事物や状態が客観的世界に現れたということ、“了 2<認知>”の意味は、ある認知や意識が主観的世界に現れたということ、“了 2<言語>”の意味は、発話者による何らかの発話行為が現れたということそれぞれ表すとされる。つまり、“了 2”の意味は客観的な動態、主観的な認知、発話行為という三つの範疇に分けられている。“了 2”の三域説は、“了 2”の意味が体系化可能であることを示している。

2 “了 2<行為>”について

2-1 “了 2<行為>”の意味

刘勋宁(1998)、吕文华(2010)、刘月华・潘文娉・故麟(2016)が指摘しているように、先行研究において、客観的な動態を表す“了 2”(“了 2<行為>”)の意味については、“变化”(変化)、“出现”(出現)、“实现”(実現)、“发生”(発生)といった用語が用いられて説明されてきた。例えば、沈开木(1987)、丁声树ほか(1999)、谭春健(2003)、呂叔湘(2016)、朱德熙(2016)などは「変化」義を主張している。(1a)-(4a)と(1b)-(4b)のニュアンスを比較しよう。

“了2”の意味の種類と意味間の関係（鄧宇陽）

- (1) a.他在削着水果了。(彼は今度は果物の皮を剥いている。) (鄧宇陽 2019 : 43)
b.他在削着水果¹⁾。(彼は果物の皮を剥いている。)
- (2) a.他是我们的儿子了。(彼は私たちの息子になった。) (CCL)
b.他是我们的儿子。(彼は私たちの息子だ。)
- (3) a.蔬菜便宜了。(野菜が安くなった。) (呂文华 2010 : 553)
b.蔬菜便宜。(野菜が安い。)
- (4) a.大学生了, 要注意形象!(もう大学生になったのだから、マナーに注意しなさい!)
(张国華 2017 : 209)
b.大学生, 要注意形象!(大学生なのだから、マナーに注意しなさい!)

(1a)-(4a)と(1b)-(4b)の違いは、形式的には、“了2”の有無という点にある。そして、意味的には、(1b)-(4b)が単に何らかの状態しか表していない一方、(1a)-(4a)は何らかの変化後の状態を表している。例えば、(1b)は、果物の皮を剥いている状態を示しているのに対して、(1a)は、何らかの前の段階から果物の皮を剥いているという新たな段階に入ったという変化を示している。

しかしながら、劉勛宁(2002)、彭小川・周芍(2005)、陈小红(2007)、杉村博文(2009)、周小兵・欧阳丹(2014)などは「変化」義に異議を唱えている。例えば、陈小红(2007)、杉村博文(2009)、周小兵・欧阳丹(2014)は、文脈や発話場面がない場合、次の(5a)-(8a)の“了2”はそれぞれ「結婚した」、「会った」、「雨が降った」、「教えた」という出来事が生じたということだけを表し、何らかの状態の前後変化を表すとは言い難いと指摘している。

- (5) 他结婚了。(彼は結婚したよ。) (陈小红 2007 : 58)
- (6) 他见到她了。(彼は彼女に会った。) (陈小红 2007 : 58)
- (7) 那天晚上下雨了²⁾。(その夜は雨が降った。) (杉村博文 2009 : 5)
- (8) 你跟她说什么了?(あなたは彼女に何を教えたのか。) (周小兵・欧阳丹 2014 : 12)

もし、「変化」義でなければ、どのような意味概念を用いて(5)-(8)の“了2”の意味を説明すればよいのであろうか。杉村博文(2009)、周小兵・欧阳丹(2014)、呂叔湘(2016)、朱德熙(2016)などによれば、「出現」義を用いて説明することが可能である。竟成(1993)、王维贤(1997)、太田辰夫(2003)、刘月华・潘文娛・故鞞(2016)などによれば、「実現」義を用いて説明することが可能である。また、張立昌(2014)、刘月华・潘文娛・故鞞(2016)などによれば、「発生」義を用いて説明することも可能である。

これまでの中国語辞書、中国語教材、中国語文法書などでは、“了2<行為>”の意味は一体どのように定義されているのであろうか。中国語辞書である《現代汉语词典(第7版)》(2017)には、「変化、または、新しい状況の出現を表す」³⁾と記載されている。また、呂文华(2010)は、過去

の数十年間北京言語大学で利用されている非中国語母語話者向けの中国語教材には、「変化」と「出現」という二つの意味概念は必ず記載されているが、他の意味概念は記載されたりされなかつたりしていることを指摘している。中国語文法書である《現代漢語八百詞》(2016)と《語法讲义》(2016)にも、「変化」と「出現」という二つの意味概念が同時に掲載されている。このように、「了2<行為>」の意味概念において、「変化」と「出現」が用いられている現状が分かる。では、なぜ中国語辞書、中国語教材、主な中国語文法書などは「変化」と「出現」という二つの意味概念のいずれかを用いるのではなく、その二つの意味概念を同時に用いるのであろうか。「変化」と「出現」のいずれかのみで「了2<行為>」の意味を十分に説明することはできないからである。例えば、上記の(1)-(8)のS「了2」から分かるように、文によって、「了2<行為>」は[+変化]という具体的な意味特徴を表す可能性もあれば、[-変化]という意味特徴を表す可能性もあるので、もし「了2<行為>」が[+変化]の意味特徴を表すのならば、「変化」という意味概念で説明できるが、[-変化]の意味特徴を表すのならば、「変化」以外の意味概念である「出現」(あるいは「実現」、「発生」⁴⁾)などで説明できる。

本論文は、[+変化]と[-変化]の意味特徴に基づいて、「了2<行為>」の意味を「発生」義⁵⁾と「変化」義に再分類する。本論文で規定する「発生」義とは、「発生した」、「起こった」、「あった」などの意味であり、[+出来事の出現]、[-特定の命題内容の変化]の意味特徴を持つ意味概念である。「発生」義が持つ意味特徴は、客観世界において何らかの出来事が「無」の状態から「有」の結果になったことを表し、また、「無」の状態を際立たせずに「有」の結果を際立たせる。また、本論文で規定する「変化」義とは、「.....に変化した」、「.....に変わった」、「.....になった」、「.....という新たな段階に入った」などの意味であり、[-出来事の出現]、[+特定の命題内容の変化]の意味特徴を持つ意味概念である。「変化」義が持つ意味特徴は、客観世界において何らかの旧命題内容が何らかの新命題内容に変わったということを表し、旧命題内容が存在していたということを含意する。

2-2 “了2<行為>”の命題的特徴

次の(9)-(12)は(5)-(8)の“了2”が省略された結果である。“了2”が用いられている(5)-(8)は、出来事の出現を表すのに対して、“了2”が用いられていない(9)-(12)は、出来事の出現を表し難い。

- (9) ?他结婚⁶⁾。(?彼は結婚して。/彼は結婚する。)
- (10) ?他见到她。(?彼は彼女に会って。)
- (11) ?那天晚上下雨。(?その夜は雨が降って。/その夜は雨だった。)
- (12) 你跟她说什么?(あなたは彼女に何を教えるのか?/あなたはなぜ彼女に教えたのか?)

例えば、(9)は“他结婚，”(彼は結婚して.....)というような不完全な意味を表す可能性もあ

れば、“他会结婚”(彼は結婚すると思う)という発話者の推測や、“他要结婚”(彼は結婚する)という主語の意志を表す可能性もある。(10)は主に“他见到她，……”(彼は彼女に会って……)というような不完全な意味を表す。(11)は“那天晚上下雨，……”(その夜は雨が降って……)というような不完全な意味を表す可能性もあれば、「その夜は雨だった」という状態を表す可能性もある。(12)は「教える」という意志に対する質問を表す可能性もあれば、「なぜ教えたのか」という理由に対する質問を表す可能性もある。このように、“了2<行為>”と“了2<行為>”の直前の内容とともに一つの完全な命題を構成するので、その“了2<行為>”が省略されたら、“了2<行為>”の直前の内容は不完全な命題(容認度が低い文)になってしまうか、または、その直前の内容は別の命題になってしまう。つまり、「発生」義と「変化」義は、ある文の命題内容(文の客観的な部分)を構成するための不可欠な一部として働いているのであり、ある文のモダリティ内容(文の主観的な部分)を構成する要素ではない。

また、“了2<行為>”のそのような命題的特徴は、主観性でなく、客観性こそが「発生」義と「変化」義の属性の一つであるということを示す。

3 “了2<認知>”について

3-1 “了2<認知>”の意味

語用論の立場から、“了2”は“肯定”(肯定)、“決定”(決定)、“確認”(確認)などの語気や語用論的機能を持つと指摘する先行研究は数多くある⁷⁾。意味論の立場から、彭小川・周芍(2005)、吴凌非(2002)、何文彬(2013)はそれぞれ「肯定」義、「確認」義、「決定」義を“了2”の基本的意味や派生的意味としている。また、「肯定」、「決定」、「確認」などの概念と「変化」、「出現」、「実現」、「発生」などの概念を合わせた上で“了2”の意味ととらえる研究もよくある⁸⁾。例えば、“了2”の意味が「事態の変化が出現したことを肯定するか、または、その変化が出現しようとしていることを肯定する」⁹⁾と指摘している研究がある(吕叔湘 2016 : 351)。意味論の立場の先行研究の成果を踏まえて、本論文は、「肯定」、「決定」、「確認」などの概念を“了2”の基本的意味の一つとして位置づける。客観的世界における「発生」義、「変化」義とは違って、「肯定」義、「決定」義、「確認」義などは主観的世界における発話者の判断や認知などを表すので、“了2<認知>”の意味範疇に属することが分かる。

しかしながら、先行研究で用いられてきた「肯定」、「決定」、「確認」という概念は“了2<認知>”の本質を十分に伝えることができないと考えられる。例えば、“了2<認知>”が表す「肯定」の意味と、肯定文が表す「肯定」の意味がどのように違っているのかという問題においては、「肯定」という概念は紛らわしい。また、「決定」という概念では、次の(13)の下線部の“了2”の意味を説明することはできる一方、次の(14)と(15)の下線部の“了2”の意味を説明することはできない。つまり、“我决定了(了1)，不买”(買わないと決定した)は自然な文であるのに対して、“*我决定了(了1)，那个是我女儿¹⁰⁾”(*あれは私の娘だと決定した)と“*我决定了(了1)，刚才她的

语速很慢”(*さっきあの方の話し方は全然速くなかったと決定した)とは非文になってしまうということである。

(13) 我原来是准备用这钱修修房子，买点家具，算了，不买了，反正旧家具还能用。(私はもともとこのお金を部屋の修繕と家具の購入に使うつもりだったが、家具の購入はもういい。買わないと決定したよ。今使用中の家具はまだ使い続けられるし。) (BCC)

(14) A：那个是谁?(あの人は誰?)

B：那个是我女儿。(あれは私の娘だ。)

A：不可能，我看不像你女儿。(嘘、あなたの娘に似ていないし。)

B：不会吧?让我再看看.....哎呀！没错了！那个是我女儿了！(何?ちょっと確かめさせて.....ほら！間違いないわよ！あれは確かに私の娘だよ！)

(2019年7月29日閲覧：<https://tieba.baidu.com/p/6209479319>)

(15) 刚才她的语速很慢了。(さっきあの方の話し方は確かに全然速くなかったよ。)

(彭小川・周苻 2005：141)

「決定」という概念の代わりに、実は「確認」という概念を用いて(14)と(15)の下線部の“了2”の意味を説明することができる。例えば、(14)と(15)の下線部のS“了2”の意味をそれぞれ“那个是我女儿，我确认了(了1)”(あれは私の娘だと確認した)と“刚才她的语速很慢，我确认了(了1)”(さっきあの方の話し方は全然速くなかったと確認した)と解釈できる。ところで、「肯定」、「決定」、「確認」などの概念はもともと“了2”が表す“已成定局”(定まった)という結果的な語気を説明するために用いられる概念であるが(王力 1984：217；1985：230)、「確認」という概念はもともと「定まった」という結果的な意味合いを伝えるだけでなく、「確認中」という意味合い、つまり「まだ定まっていない」というような過程的な意味合いも伝えるので、「確認」という概念も“了2<認知>”の意味を十分に説明できない。

先行研究で用いられてきた「肯定」、「決定」、「確認」などの概念が“了2<認知>”の意味を十分に説明できないため、“了2<認知>”の「定まった」という抽象的な語気はしばしば単なる「陳述」の語気に過ぎないと誤解されがちであり(劉綺紋 2006：201-202)、「定まった」という語気のもともとの価値もなくなってしまうがちである。本論文は、“了2<認知>”に含意されている「定まった」という意味合いを考慮に入れた上で、先行研究で用いられてきた“確認”(確認)という概念を“確定”(確定)という概念に変えて、「確定」義を通して“了2<認知>”の意味を説明する。本論文で規定する「確定」義は、具体的に平叙文の場合の「確定」義と疑問文の場合の「確定」義に分けられる。平叙文の場合の「確定」義とは、「確かめた」、「確かに」、「確実である」、「既定である」、「決まった」、「確定した」、などの意味を指す。疑問文の場合の「確定」義とは、「既定内容を確かめたい」などの意味を指す。

3-2 “了2<認知>”のモダリティ的特徴

次の(16)-(18)は、(13)-(15)の下線部の“了2<認知>”が省略された結果である。(16)-(18)から分かるように、“了2<行為>”に対して、“了2<認知>”は、「確定」という発話者の主観的態度を“了2<認知>”の直前の命題に付与するだけで、その直前の命題の客観的意味にも、その直前の命題の、文としての容認度にも影響を与えない。

(16) 我原来是准备用这钱修修房子，买点家具，算了，不买，反正旧家具还能用。(私はもともとこのお金を部屋の修繕と家具の購入に使うつもりだったが、家具の購入はもういい。買わない。今使用中の家具はまだ使い続けられるし。)

(17) A：那个是谁?(あの人は誰?)

B：那个是我女儿。(あれは私の娘だ。)

A：不可能，我看不像你女儿。(嘘、あなたの娘に似ていないし。)

B：不会吧?让我再看看……哎呀！没错了！那个是我女儿！(何?ちょっと確かめさせて……ほら！間違いないわよ！あれは私の娘だ！)

(18) 刚才她的语速很慢。(さっきあの方の話し方は全然速くなかった。)

つまり、「確定」義は、ある文のモダリティ内容(文の主観的な部分)を構成する要素であり、ある文の命題内容(文の客観的な部分)を構成する要素ではない。

また、“了2<認知>”のそのモダリティ的特徴は、客観性ではなく、主観性こそが「確定」義の属性の一つであるということを示す。

3-3 “了2<認知>”の意味の形成メカニズム

“了2<認知>”の「定まった」という意味合いが生じる理由、つまり、本論文でいう「確定」義が生じる理由を考察した先行研究は、劉綺紋(2006)だけである。劉綺紋(2006)から明らかのように、「心的走査」という認知様式は“了2”の「確定」義(「定まった」という意味合い)につながる。「心的走査」とは、「逡巡」という心理的過程を経てから何らかの結果を心理面において「選択」というプロセスである(劉綺紋 2006: 201-244)。つまり、心理面における複数の「選択肢」に対して「逡巡」してから、何らかの「選択肢」を「選択」ということである。「確定」という人間の主観的判断や心理的活動に関する認知様式も、まさに「逡巡」後に「選択」という「心的走査」である。「心的走査」の認知様式という側面からみれば、“了2”の「確定」義の形成メカニズムは、「選択」意識の作用である。

4 “了2<言語>”について

4-1 “了2<言語>”の意味

“了2”は“主观近距交互式语体”(近距離間主観的文体)であるとされている(王洪君・李榕・乐耀 2009 : 312-333)。

「間主観的(intersubjective)」という概念について、まず Traugott(2003)が述べている「主観化」(subjectification)と「間主観化」(intersubjectification)の概念を用いて説明しよう。Traugott(2003)によれば、「主観化」は、意味の焦点がより発話者に置かれるようになるメカニズムであるのに対して、「間主観化」は、意味の焦点がより聞き手に置かれるようになるメカニズムであり、また、「間主観化」は「主観化」から生じる(Traugott2003 : 124-139)。Traugott(2003)の主張を踏まえて、澤田淳・小野寺典子・東泉裕子(2017)は次のように補足説明をしている。「主観化」は、語の意味が、発話者の、より主観的な見方、判断、評価などを表すようになる変化であり、「間主観化」は、発話者の、聞き手の主観性に対する配慮などを表すようになる変化であり、また、間主観的な特徴は、一方的ではなく、双方向的かつ対話的であり、「『話し手-聞き手』関係」が注目されているということである(澤田淳・小野寺典子・東泉裕子 2017 : 55-73)。このように、間主観的な特徴は、発話者が聞き手のことを意識しながら発話したり、聞き手のために発話したりするという聞き手指向性が内包されている対話関係が際立つ。

実は、間主観的な特徴は「語用論的、意味論的傾向(semantic-pragmatic tendencies)」を表している(Traugott and Dasher2002 : 281)。つまり、間主観的な特徴は、もともと何らかの語用論的要素であったが、何らかの意味的要素として理解しても良いということである。意味論の立場から捉えられる間主観的な特徴は、もともと語用論的要素とみなされた何らかの特徴が具体的な言語表現に「コード化」され、つまり、「言語の内部性質である意味に取り入れられ」て、語の意味の一部となるということになる(澤田淳・小野寺典子・東泉裕子 2017 : 55-73)。本論文は意味論の立場から、“了2”が表す間主観的な特徴を“了2”の意味の一部として位置づける。間主観的な特徴は対話関係が際立つので、“了2<言語>”の意味とされるべきである。

肖治野・沈家煊(2009)は、発話者による“说”(言うこと)、“请求”(命令や指示)、“宣布”(発表)、“提问”(質問)などの発話行為が現れたということをも“了2<言語>”の意味として定義しているが、その発話者による一方的な発話行為を“了2<言語>”の意味としているので、“了2<言語>”の「近距離間主観的文体」としての本質を伝えることができない。つまり、発話行為(言うこと、命令すること、指示すること、発表すること、質問することなど)という定義は、第一人称の「私」と第二人称の「あなた」の対話関係を反映しているだけでなく、第二人称以外の人物の間の対話関係も反映しているため、聞き手指向性(第一人称の「私」と第二人称の「あなた」の対話関係)を十分に伝えられない。聞き手指向性と発話者の発話行為を同時に表すために、本論文は、“了2<言語>”の意味を“请听我说”(発話要注意)と定義する。本論文で述べる「発話要注意」という概念は、命令文の意味範疇に属する概念であり、具体的には、「あなたは私の発話を聞いてください」、「あなたは私の発話に注意してください」、「私の発話に注意するように私はあなたに

“了2”の意味の種類と意味間の関係（鄧宇陽）

頼んだ」、「いいか」、「あのう」、「ねえ」などの意味を指す。

上述の(13)-(15)の下線部のS“了2<認知>”は、発話者が第二人称以外のこと(第一人称のこと、第三人称のこと、無生物のことなど)について叙述しているという特徴があるが、次の(19)-(23)の下線部のS“了2”は、発話者が第二人称のことについて発話するという特徴がある。

(19) (叫売声) 苹果了, 苹果了。((売り声) リンゴ。 リンゴはいかがですか。)(周一民 2011 : 96)

(20) (叫売声) 500元! 走过路过不要错过了。((売り声) 500元です! またとないチャンスを逃さない いでください。)

(2019年7月25日閲覧 : <http://bbs.gxsky.com/thread-10941311-1-1.html>)

(21) 请注意, 查身份证了! 快把身份证拿出来! 身份证了身份证了! 动作快点!(いいか。これから身分証をチェックします! はやく身分証を提示してください。 身分証ですよ、身分証! はやく!)

(2019年7月29日閲覧 : <https://tieba.baidu.com/p/6209372830>)

(22) 谢谢你们, 谢谢家声哥, 有爱的剧组。谢谢, 谢谢了!(みんな、ありがとう。家声兄ちゃん、ありがとう。愛に満ちた映画スタッフの皆さん、ありがとう。ありがとう、ありがとうございました。)

(BCC)

(23) 记住, 明天别吃掉那个苹果了! 吃了我可饶不了你!(覚えておいてよ。 明日、あのリンゴを食べないでね! 食べられたら許さないぞ。)

(2019年7月29日閲覧 : <https://tieba.baidu.com/p/6209374212>)

(19)-(23)の下線部の“了2”は、主に第二人称(聞き手)向けに用いられているため、まさに本論文でいう「あなたは私の発話を聞いてください」、「あなたは私の発話に注意してください」などの「発話要注意」義を示している。例えば、(19)-(23)の下線部のS“了2”の意味をそれぞれ“请大家听好了, 苹果, 苹果”(皆さん、私の売り声をよく聞いてください。リンゴ。リンゴはいかがですか)、“请大家注意, 走过路过不要错过”(皆さん、私の売り声によく注意してください。またとないチャンスを逃さないでください)、“听好了, 身份证身份证”(いいか、身分証ですよ、身分証)、“听好了, 谢谢”(いいですか。ありがとうございました)、“明天别吃掉那个苹果, 听好了”(明日、あのリンゴを食べないでね! いいですか)と解釈できる。

4.2 “了2<言語>”のモダリティ的特徴としての対話的特徴

上述の(19)-(23)と次の(24)-(28)を比較すると明らかのように、(19)-(23)の下線部の“了2<言語>”は、発話者の何らかの主観的態度を“了2<言語>”の直前の客観的命題に付与するだけで、その直前の命題の客観的意味にも、その直前の命題の、文としての容認度にも影響を与えない。

(24) (叫売声) 苹果, 苹果。((売り声) リンゴ。 リンゴはいかがですか。)

- (25) (叫売声)500元！走过路过不要错过。(（売り声）500元です！またとないチャンスを逃さない
ください。)
- (26) 请注意，查身份证了！快把身份证拿出来！身份证身份证！快把身份证拿出来！（いいか。
これから身分証をチェックします！はやく身分証を提示してください。身分証ですよ、身
分証！はやく！)
- (27) 谢谢你们，谢谢家声哥，有爱的剧组。谢谢，谢谢！（みんな、ありがとう。家声兄ちゃん、
ありがとう。愛に満ちた映画スタッフの皆さん、ありがとう。ありがとう、ありがとう。）
- (28) 记住，明天别吃掉那个苹果！吃了我可饶不了你！（覚えておいてよ。明日、あのリンゴを
食べないでね！食べられたら許さないぞ。)

したがって、「発話要注意」義は、ある文のモダリティ内容(ある文の主観的な部分)を構成する要素であり、ある文の命題内容(ある文の客観的な部分)を構成する要素ではない。この点においては、(13)-(15)の下線部の“了 2<認知>”と同様の特徴を持っている。つまり、“了 2<言語>”も“了 2<認知>”のようにモダリティ的特徴を示している。

しかし、(13)-(15)の下線部の“了 2<認知>”は発話者による何らかの主観性を反映しているだけであるのに対して、(19)-(23)の下線部の“了 2<言語>”は発話者による何らかの主観性を反映しているだけでなく、その主観性がどのように聞き手に作用するのかという聞き手指向性も反映している。聞き手指向性が対話的特徴のある主観性を示す属性であるため、主観性というより、むしろ間主観性のほうが「発話要注意」義の属性の一つであると考えられる。

4-3 “了 2<言語>”の意味の形成メカニズム

4-1 節と 4-2 節から明らかなように、間主観性は、「『話し手-聞き手』関係」が注目され、対話的であるということが特徴である。つまり、対話関係があつての間主観性である。そのため、発話者が聞き手と対話する意識を常に念頭に置くことは、発話者が“了 2<言語>”を用いるための必要条件となっている。このように、「対話」意識の作用は「発話要注意」義の形成メカニズムとなっている。

5 “了 2”の意味間の関係

5-1 “了 2”の意味間の「外延—内包」関係

“了 2”の具体的な意味を逐一列挙するのではなく、“了 2”のすべての意味の共通性を追究する先行研究もある。例えば、『『変化、新状況の出現』という意味は、何らかの命題(あるいは文)において『実現』義が機能することから生じる二次的効果に過ぎない』¹¹⁾という主張もあり(郭锐 2008: 13)、また、「いわゆる『実現』は、『現実になる』という意味を表し、『発生』、『出現』も同様の意味を表す。ただし、『発生』、『出現』より、『実現』の方が意味がやや広い。中国語

教材で見られる『新状況の出現』や『変化』はこの『実現』のことを指している¹²⁾という主張もある(刘月华・潘文娛・故犇 2016 : 379)。さらに、卢福波(2002)の“过程转换”(過程轉換)説、譚春健(2004)の“易态”(状態轉換)説、劉綺紋(2006)の「限界達成」説、吕为光(2007)と张黎(2010)の“界变”(限界変化)説、石毓智(2015)の“实现过程”(實現過程)説から明らかなように、どのような種類の“了2”でも、「轉換」という動的認知様式においては共通している。例えば、劉綺紋(2006)と张黎(2010)は、客観的意味(命題的意味)を表す“了2”でも、客観的意味以外の意味(モダリティ的意味など)を表す“了2”でも、その“了2”が常に「轉換」という動的認知様式を持つということを論証している。要するに、三域の視点からみれば、“了2”の行為域(客観的な命題を表す域)だけでなく、認知域(主観性を表す域)と言語域(間主観性を表す域)においても、「轉換」様式は存在するということになる。

「轉換」という動的認知様式というのは、時間軸における二つの状態の接点に内包されている動的瞬間である。例えば、「変化」義を表す(3a)の“了2”は、「野菜が安くない」という状態から「野菜が安い」という状態に「轉換」した瞬間(接点)を示している。「発生」義を表す(6)の“了2”は、「彼女に会っていない」という状態から「彼女に会った」という状態に「轉換」した瞬間(接点)を示している。「確定」義を表す(14)の“了2”は、「あれは私の娘かどうかについての判断はまだ確定していない」という状態から「あれは私の娘だという判断は確定した」という状態に「轉換」した瞬間(接点)を示している。「発話要注意」義を表す(22)の“了2”は、「発話者はすでに口に出した『ありがとう』を聞き手がきちんと聞くかどうかという問題には関心を持っていない」という状態から「発話者はすでに口に出した『ありがとう』を聞き手がきちんと聞くように頼んだ」という状態に「轉換」した瞬間(接点)を示している。こうしてみれば、「轉換」という動的認知様式は、“了2<行為>”、“了2<認知>”、“了2<言語>”の共通属性であることが分かる。

ところで、「概念」とは、認識主体が、「一群の対象(知覚的对象)」が何らかの「共通属性」を持つということを意識した上で、その「一群の対象」を一つの「記号」で統括的に表現して得る「心的実在」である(山本信也 1985 : 41-42)。つまり、一つの概念は、「一群の対象(知覚的对象)」とその「一群の対象」の「共通属性」からなる。また、その「一群の対象(知覚的对象)」は外延の意味とも呼ばれており、「一群の対象」の「共通属性」は内包的意味とも呼ばれている(山本信也 1985 : 41-42)。例えば、「芸術」という概念の外延の意味は「演劇」、「音楽」、「絵画」、「彫刻」、「文学」などの「対象」を指すが、「芸術」という概念の内包的意味は、「人間活動」、「自己表現」などの「共通属性」を指す。また、「芸術」という概念と「演劇」、「音楽」、「絵画」、「彫刻」、「文学」などの概念の関係を上位概念と下位概念の関係に理解しても構わない。もし、概念の立場から“了2”をとらえれば、「発生」義、「変化」義、「確定」義、「発話要注意」義は“了2”という概念の外延の意味(一群の知覚的对象)に相当し、「轉換」という認知様式は“了2”という概念の内包的意味(一群の知覚的对象の共通属性)に相当する。また、上位概念と下位概念の

関係からみれば、“了2”は上位概念であり、「発生」、「変化」、「確定」、「発話要注意」という四つの意味概念は“了2”という上位概念に対する下位概念である。上述の分析をもとに、本論文は、「発生」義、「変化」義、「確定」義、「発話要注意」義を“了2”の外延の意味として位置づけ、「転換」義を“了2”の内包の意味として位置づける。ここで、“了2”の意味間の「外延-内包」関係を表1で示す。

表1. “了2”の意味間の「外延-内包」関係

「発生」義	外延の意味
「変化」義	
「確定」義	
「発話要注意」義	
「転換」義	内包の意味

(出所)筆者作成

5-2 “了2”の外延の意味の間の共起関係

肖治野・沈家煊(2009)は、一つのS“了2”の中の“了2”は、行為域の意味、認知域の意味、言語域の意味のいずれかを表すだけでなく、複数の域の意味を同時に表す可能性もある、つまり、違う域の意味が共起する可能性もある、ということを描しているが、違う域の意味がどのように共起するのか、もしくは、どのような共起関係を表すのかについては分析していない。本節は、「発生」義、「変化」義、「確定」義、「発話要注意」義という複数の外延の意味の共起関係を原理的に解明することを試みる。

論理的には、ある文における“了2”が一つの何らかの意味を持っているということを特定してから、その意味だけを取り上げて検討することは可能であるが、現実的には、ある文における“了2”が一つの意味だけを表すことは可能であろうか。

王力(1985)、高順全(2006)は、現実的には、“了2”は純粋に客観性を表さず、どのような場合においても必ず何らかの主観的語気を表すと指摘している。何文彬(2013)は、現実的には、“了1”は“封闭性”(閉鎖的)であり、事象の内部のメカニズムだけを反映するので、純粋に客観的な事象を表すが、“了2”は“開放性”(開放的)であり、事象の内部のメカニズムだけでなく、その事象の外部における発話者の態度や見方なども反映するので、純粋に客観的な事象を表さないと指摘している。“了2<行為>”が客観的な命題内容(客観的な事象)を表すものであるため、現実的には、“了2”は純粋に“了2<行為>”の意味だけを表さないとすることも分かる。

現実的には、“了2”が純粋に“了2<認知>”の意味(主観的な意味)だけを表すことは可能であろうか。また、“了2<言語>”の意味(間主観的な意味)だけを表すことは可能であろうか。王力(1985)、吴凌非(2002)、彭小川・周芍(2005)、吕叔湘(2016)から明らかのように、どのような場合におい

ても、“了2”は必ず「定まった」、「肯定」、「確認」などの語気や意味(本論文でいう「確定」義)を伴う。そのため、“了2”は常に「確定」義という“了2<認知>”の意味を表すということが分かる。また、王洪君・李榕・乐耀(2009)は、大量の言語資料を調べた結果、口語体が用いられる日常対話、小説、台詞劇などには“了2”がしばしば用いられるが、文章体が用いられる新聞記事、社説、公開講演、学術論文、法律などには“了2”はめったに用いられないということを指摘している。例えば、《编辑部的故事》という台詞劇における“了2”の字数は全体内容の字数の1.41%を占めているが、1996年の《人民日报》(中国政府の日刊新聞)における“了2”の字数は全体内容の字数の0.068%しか占めていない(王洪君・李榕・乐耀 2009 : 320)。张立昌(2015)もデータの調べに基づいて、「会話文の中においては、語尾の“了”より文末の“了”のほうが圧倒的に多いが、叙事文においては、(中略)語尾の“了”のほうがずっと多い」¹³⁾と結論づけている。武果・吕文华(1998)、谭傲霜(1999)、何文彬(2013)、陆方喆(2014)、夏炎青(2017)なども王洪君・李榕・乐耀(2009)、张立昌(2015)と同様の結論に達した。王洪君・李榕・乐耀(2009)はナラトロジー理論で“了2”の本質を分析した結果、“了2”の背後には常に特定の語り手が隠れており、その語り手はいつも聞き手の何らかの反応を期待しながら語っていると結論づけている。この結論に基づいて、“了2”が「近距離間主観的文体」であることがはじめて明らかにされている(王洪君・李榕・乐耀 2009 : 330)。もし、“了2”が「近距離間主観的文体」であることを認めたら、“了2”がどのような場合においても“了2<言語>”の意味(間主観的意味)を表すということを認めなければならない。総じていえば、上述の先行研究の見地を統合して分かるように、どのような場合においても、“了2”は常に「確定」義も表し、「発話要注意」義も表す。つまり、「確定」義と「発話要注意」義を常に同時に表すということになる。したがって、現実的には、“了2”は“了2<認知+言語>”の意味(“了2<認知>”と“了2<言語>”の複合的意味)を表すが、単に“了2<認知>”の意味だけでも表さず、“了2<言語>”の意味だけでも表さない。言い換えれば、“了2<認知>”の意味は“了2<認知+言語>”という形でしか現れず、“了2<言語>”の意味も“了2<認知+言語>”という形でしか現れない。

また、本節の上述の分析から分かるように、現実的には、“了2”が純粋に“了2<行為>”の意味だけを表さないのも、もし、ある文の“了2”が“了2<行為>”の意味を持つということを確認できれば、その文の“了2”は“了2<行為+認知+言語>”の意味(“了2<行為>”、“了2<認知>”、“了2<言語>”の複合的意味)しか表さない。言い換えれば、ある文の“了2<行為>”の意味は“了2<行為+認知+言語>”という形でしか現れない。

そのため、第2節の例文の下線部の“了2”は、「変化」義または「発生」義という行為域の意味を表すので、“了2<行為+認知+言語>”であることが分かる。第3節と第4節の例文の下線部の“了2”は、「発生」義または「変化」義という行為域の意味を表さず、“了2”の直前の客観的命題に発話者の何らかの主観的態度を付与するだけであるので、“了2<認知+言語>”であることが分かる。

以上の分析に基づいて、“了 2”の外延的意味の間の共起関係を次のように主張する。一つの S“了 2”における“了 2”の意味は、論理的には、「発生」義、「変化」義、「確定」義、「発話要注意」義という四つの意味に分けられるが、現実的には、「発生+確定+発話要注意」義、「変化+確定+発話要注意」義、「確定+発話要注意」義という三つの複合的意味しか表さない。表 2 は“了 2”の外延的意味の間の共起関係と“了 2”の現実的な意味を示す。

表 2. “了 2”の外延的意味の間の共起関係と“了 2”の現実的な意味

形式	意味
“了 2<行為+認知+言語>”	「発生+確定+発話要注意」義
	「変化+確定+発話要注意」義
“了 2<認知+言語>”	「確定+発話要注意」義

(出所)筆者作成

厳密に言えば、前述のすべての例文の下線部の“了 2”は、「発生」義、「変化」義、「確定」義、「発話要注意」義のいずれかのみを表すのではなく、表 2 に示す現実的な意味のいずれかを表すはずである。そのため、現実的には、前述のすべての下線部の S“了 2”の意味、即ち、次の(29a)-(44a)の意味は、次の(29b)-(44b)の意味に相当するのである。

- (29) a. 他在削着水果了。(彼は今度は果物の皮を剥いている。)(「変化+確定+発話要注意」義を表す文)
 b. 听我说, 他从不在削着水果的状态变成了(了 1)在削着水果的状态, 这个状态确定了(了 1)。(聞いてよ、彼は果物の皮を剥いているという新たな段階に入ったよ。このことは確定だよ。)
- (30) a. 他是我们的儿子了。(彼は私たちの息子になった。)(「変化+確定+発話要注意」義を表す文)
 b. 听好了, 他成为了(了 1)我们的儿子, 确定了(了 1)。(いいか、彼は私たちの息子になったよ。これは決まった(確定して変わらない)事実だよ。)
- (31) a. 蔬菜便宜了。(野菜が安くなった。)(「変化+確定+発話要注意」義を表す文)
 b. 你知道吗, 接下来的情况确定了(了 1), 蔬菜从不便宜的状态变成了(了 1)便宜的状态。(あのう、次のことは決まった(確定した)よ。野菜が安くなったよ。)
- (32) a. 大学生了。(もう大学生になった。)(「変化+確定+発話要注意」義を表す文)
 b. 听我说, 你已经成为大学生。这是已经确定下来的事实。(いいか、あなたはもう大学生になったよ。これはもう確定して変わらない事実だよ。)
- (33) a. 他结婚了了。(彼は結婚した。)(「発生+確定+発話要注意」義を表す文)

- b. 听我说，他结了了了1婚，我确定了了1。(あのう、彼は結婚した。これは確かだよ。)
- (34) a. 他见到她了。(彼は彼女に会った。)(「発生+確定+発話要注意」義を表す文)
- b. 你听我说，他见到了了了1她，我确定了了1。(あのう、彼は彼女に会った。これは確実だよ。)
- (35) a. 那天晚上下雨了。(その夜は雨が降った。)(「発生+確定+発話要注意」義を表す文)
- b. 你知道吗，那天晚上下了了了1雨，我确定了了1。(聞いてよ。その夜は雨が降った。これは確実だよ。)
- (36) a. 你跟她说了什么了? (あなたは彼女に何を教えたのですか。)(「発生+確定+発話要注意」義を表す文)
- b. 请听我的问题，你跟她说了了了1什么，我想确定一下。(私の質問を聞いてください。あなたは彼女に何を教えたのですか。その内容を確かめたいです。)
- (37) a. 不买了。(買わないよ。)(「確定+発話要注意」義を表す文)
- b. 你听我说，我不买，确定了了1。(いいかい、買わないよ。これで決まり(既定の決断、確定した決断)だよ。)
- (38) a. 那个是我女儿了！(あれは私の娘だ！)(「確定+発話要注意」義を表す文)
- b. 听好了，那个是我女儿，确定了了1。(いいかい、あれは私の娘だよ！確かだよ。)
- (39) a. 刚才她的语速很慢了。(さっきあの方の話し方は全然速くなかったよ。)(「確定+発話要注意」義を表す文)
- b. 听好了，刚才她的语速很慢，这是确定了了1的。(いいか、さっきあの方の話し方は全然速くなかったよ。これは確実だよ。)
- (40) a. 苹果了，苹果了。(リンゴ。リンゴはいかがですか。)(「確定+発話要注意」義を表す文)
- b. 大家听好了，我确定我这儿有苹果，不是在开玩笑，我确定我这儿真的有苹果。(私の呼び声に注意してください。リンゴ販売中ですよ。私が言うことは確実です。冗談やいたずらなんかではありません。確かにリンゴ販売中ですよ。)
- (41) a. 走过路过不要错过了。(またとないチャンスを逃さないでください。)(「確定+発話要注意」義を表す文)
- b. 大家注意听，走过路过不要错过，我确定了了1。因为这是一个绝好的机会。(私の呼び声に注意してください。またとないチャンスを逃さないでください。私が言ったことは確実です。今は絶好のチャンスですから。)
- (42) a. 身份证了身份证了！(身分証ですよ、身分証ですよ！)(「確定+発話要注意」義を表す文)
- b. 身份证！请拿出身份证！听好了，我的要求已经确定了了1，不容改变。(身分証！身分証を提示してください。いいか、これは決まった(確定して変わらない)命令ですから。)
- (43) a. 谢谢了！(ありがとうございました。)(「確定+発話要注意」義を表す文)
- b. 听我说，谢谢。我的感恩不是玩笑，是真的，我确定。(ねえ、ありがとうございました。)

冗談なんかではない。本音だよ。お礼を言う気持ちは確かにあるんだよ。)

(44) a. 明天别吃掉那个苹果了！(明日、あのリンゴを食べないでね！)(「確定+発話要注意」義を表す文)

b. 明天别吃掉那个苹果！听好了，这个要求已经确定了(了1)。(明日、あのリンゴを食べないでね！いいか。これは決まった(確定した)命令だよ。)

6 終わりに

本論文は、まず、“了2”の意味を「発生」義、「変化」義、「確定」義、「発話要注意」義、「転換」義の四つに分類した上で、“了2”の意味が客観性、主観性、間主観性、「転換」様式が示す動態性などの属性を持つことと、「確定」義と「発話要注意」義の形成メカニズムがそれぞれ「選択」意識の作用と「対話」意識の作用であることを明らかにした。また、“了2”の意味間の「外延-内包」関係と、“了2”の四つの外延的意味の間の共起関係を原理的に解明した。

<注>

- 1) 出典が表記されていない例文は筆者による。
- 2) この例文は杉村博文(2009)の“那天晚上下雨了吗?”という原文を書き換えたものである。
- 3) 原文は、“表示变化或出现新的情况”である。
- 4) 刘勳宁(1998)は「出現」と「発生」が“用词的差别”(用語の違い)に過ぎず、“对立性的概念”(対立的概念)ではないと指摘しており、肖治野・沈家煊(2009)、陆方喆(2014)は、「実現」は「出現」に相当すると指摘している。
- 5) 「出現」という概念はもともと何らかの「事」が現れたということを表すだけでなく、何らかの「物」が現れたということも表す。しかし、本論文でいう「出現」という概念は主に何らかの「事」が現れたということを目指す。誤解をさけるため、「出現」の代わりに、「発生」という概念を用いる。
- 6) 「？」は不完全な意味を表す文か、または、文脈なしでは理解し難い文を指す。
- 7) 例えば、吴凌非(2002)、孙汝建(2005)、王媛(2011)などは“了2”が「肯定」の語気があると指摘している。吕叔湘(1982)、王力(1984; 1985)、劉綺紋(2006)などは、「決定」の語気があると指摘している。岳中奇(1997)、吴凌非(2002)、孙汝建(2005)、叶琼(2014)などは「確認」の語気があると指摘している。
- 8) 高顺全(2006)、王媛(2011)、吕叔湘(2016)などを参照する。
- 9) 原文は、“肯定事态出现了变化或即将出现变化”である。
- 10) 「*」は非文を指す。
- 11) 原文は、“‘变化、出现新事态’的意义其实是‘实现’义作用于命题(句子)时产生的附带效应”である。
- 12) 原文は、“所谓‘实现’，意思就是‘成为现实’，也就是‘发生’、‘出现’，‘实现’意思更宽泛一些。过去一般汉语教材中说表示‘出现了新的情况’，表示‘变化’，也是这个意思”である。
- 13) 原文は、“会话语体中，句尾‘了’占绝大多数；叙事语体中(中略)词尾‘了’明显占多数”である。

<引用文献>

- 陈小红 (2007) <“了1”、“了2”语法意义辨疑> 《语言教学与研究》，第5期，pp.54-60
- 邓宇阳 (2019) <重新探讨行域层面的句末助词“了”的语义及其生成机制> 『言語研究』，第4号，pp.42-54
- 丁声树・吕叔湘・李荣・孙德宣・管燮初・傅婧・黄盛璋・陈治文(編) (1999) 《现代汉语语法讲话》，北京：商务印书馆
- 高顺全 (2006) <从语法化的角度看语言点的安排——以“了”为例> 《语言教学与研究》，第5期，pp.60-66

“了2”の意味の種類と意味間の関係（鄧宇陽）

- 郭锐 (2008) <语义结构和汉语虚词语义分析> 《世界汉语教学》，第4期，pp.5-15
- 何文彬 (2013) <论语气助词“了”的主观性> 《语言研究》，第1期，pp.10-18
- 竟成 (1993) <关于动态助词“了”的语法意义问题> 《语文研究》，第1期，pp.52-57
- 刘勋宁 (1998) 《现代汉语语言研究》，北京：北京语言文化大学出版社
- 刘勋宁 (2002) <现代汉语句尾“了”的语法意义及其解说> 《世界汉语教学》，第3期，pp.70-79
- 刘月华·潘文娉·故鞞 (2016) 《实用现代汉语语法》，北京：商务印书馆
- 卢福波 (2002) <重新解读汉语助词“了”> 《南开语言学刊》，第1期，pp.109-118
- 陆方喆 (2014) <基于语料库的助词“了”研究> 《宁波大学学报》，第4期，pp.43-47
- 吕为光 (2007) <“了”的“有界”功能> 《湖北经济学院学报》，第3期，pp.147-149
- 吕文华 (2010) <“了”的教学三题> 《世界汉语教学》，第4期，pp.548-556
- 吕叔湘 (1982) 《中国文法要略》，北京：商务印书馆
- 吕叔湘 (2016) 《现代汉语八百词》，北京：商务印书馆
- 太田辰夫 (1958) 『中国語歴史文法』，東京：江南書院（訳：蒋绍愚·徐昌华 (2003) 《中国语历史文法》，北京：北京大学出版社）
- 彭小川·周芍 (2005) <也谈“了2”的语法意义> 《学术交流》，第1期，pp.136-141
- 沈开木 (1987) <“了2”的探索> 《语言教学与研究》，第2期，pp.4-19
- 石毓智 (2015) 《汉语语法》，北京：商务印书馆
- 孙汝建 (2005) <句末语气词的四种语用功能> 《南通大学学报》，第2期，pp.76-80
- 杉村博文 (2009) <事件脚本和“了2”的用法表述> 《对外汉语研究》，第1期，pp.1-12
- 谭傲霜 (1999) <汉语虚词隐现的制约因素> 《世界汉语教学》，第2期，pp.53-62
- 谭春健 (2003) <如何体现“变化”——关于句尾“了”理论语法与教学语法的接口> 《语言教学与研究》，第3期，pp.73-80
- 谭春健 (2004) <句尾“了”构成的句式、语义及语用功能> 《汉语学习》，第2期，pp.26-31
- 王力 (1984) 《中国语法理论》，山东：山东教育出版社
- 王力 (1985) 《中国现代语法》，山东：山东教育出版社
- 王维贤 (1997) 《现代汉语语法理论研究》，北京：语文出版社
- 王洪君·李榕·乐耀 (2009) <“了2”与话主显身的主观近距交互式语体>，陆俭明(编) 《语言学论丛》，北京：商务印书馆，pp.312-333
- 王媛 (2011) <“了”的使用机制及教学策略> 《语言教学与研究》，第3期，pp.17-21
- 武果·吕文华 (1998) <“了2”句句型场试析> 《世界汉语教学》，第2期，pp.13-21
- 吴凌非 (2002) <论“了1”和“了2”> 《语言研究》，第1期，pp.23-27
- 夏炎青 (2017) 《现代汉语句末助词“了”的句法语义属性及其对语序的影响》，上海外国语大学博士学位論文

- 肖治野・沈家煊 (2009) <“了2”的行、知、言三域> 《中国语文》, 第6期, pp.518-527
- 叶琼 (2014) <“第1人称+V+了2”格式的未然语义解读> 《华文教学与研究》, 第3期, pp.85-91
- 岳中奇 (1997) <“V(了1)—Ct了2”中“了2”的时体功能及其相关动词> 《汉语学习》, 第3期, pp.14-17
- 张黎 (2010) <现代汉语“了”的语法意义的认知类型学解释> 《汉语学习》, 第6期, pp.12-21
- 张立昌 (2014) 《汉语完整体“了”结构的时体合成模型》, 复旦大学博士学位論文
- 张立昌 (2015) <汉语体标记“了”的话语功能分布研究> 《汉语学习》, 第3期, pp.54
- 张国华 (2017) <“NP+了”句式表“过程”新探> 《教育教学论坛》, 第17期, pp.208-209
- 中国社会科学院语言研究所词典编辑室(編) (2017) 《现代汉语词典(第7版)》, 北京: 商务印书馆
- 周一民 (2011) <“NP了”的构式类型和成句条件> 《玉林师范学院学报》, 第6期, pp.93-97
- 周小兵・欧阳丹 (2014) <日本学习者句末助词“了2”的习得情况考察> 《华文教学与研究》, 第4期, pp.8-15
- 朱德熙 (2016) 《语法讲义》, 北京: 商务印书馆
- 劉綺紋 (2006) 『中国語のアスペクトとモダリティ』, 大阪: 大阪大学出版会
- 澤田淳・小野寺典子・東泉裕子 (2017) 「周辺部研究の基礎知識」, 小野寺典子(編) 『発話のはじめと終わり——語用論的調節のなされる場所』, 東京: ひつじ書房, pp.3-51
- 山本信也 (1985) 「数学教育における概念形成論の批判的検討」 『数学教育学研究紀要』, 第11号, pp.41-46
- Traugott, Elizabeth Closs and Dasher, Richard (2002), *Regularity in Semantic Change*, Cambridge: Cambridge University Press
- Traugott, Elizabeth Closs (2003), “From Subjectification to Intersubjectification”, In Hickey, Raymond (Ed.), *Motives for Language Change*. Cambridge: Cambridge University Press, pp.124-139

主指導教員 (朱継征教授)、副指導教員 (大竹芳夫教授・山田陽子准教授)